





審査結果報告書

平成 26 年 8 月 26 日

主 査	氏 名	宮下 俊之	
副 査	氏 名	宮地 鑑	
副 査	氏 名	三 坂 信	
副 査	氏 名	廣畑 俊成	

1. 申請者氏名 : DM10012 扇原 義人

2. 論文テーマ :

難治川崎病の病態および新規治療薬インフリキシマブ療法の生物学的機序の解明

3. 論文審査結果 : 合格

扇原君の学位論文は2部からなる。前半は胸水貯留を合併した川崎病5例の臨床像と経過を検討したものである。これらの症例では血管炎の程度が強く、様々な合併症も認め、低アルブミン血症が胸水の原因と考えられると考察した。更に血管内皮増殖因子(VEGF)を測定し、胸水貯留が顕著であった症例では VEGF 値が回復後著しい減少を認めたことより、VEGF が漏出性胸水の出現に関与した可能性があると考察した。

後半は抗 TNF α 抗体であるインフリキシマブを投与した免疫グロブリン療法(IVIG)不応川崎病症例で、投与前後に mRNA のマイクロアレイ解析を行い、病態と治療効果に関する分子生物学的機序を解析したものである。

論文は明快かつ説得力をもって書かれており、図表もわかり易いものであった。学位審査会当日の発表もよく準備されたわかり易いものであった。主査、副査からの質問にも的確に答えられた。

特に後半の研究は、インフリキシマブによる TNF α の遮断が血管炎に関する pathway と IVIG 不応に関する因子を抑制することを示しており、難治性川崎病の新たな治療につながる有意義な研究と思われた。

以上の点から学位論文として十分にふさわしい研究と判断した。